

# 校長会報

令和6年度 第1号  
発行所  
島根県小学校長会  
事務局  
松江市母衣町55  
県教育会館内  
TEL (0852)27-8530  
FAX (0852)67-3360

## 未来社会を創るしまねの子どもたちの 姿を見据え 連携・協働して



島根県小学校長会長

安 達 利 幸

(松江市立宍道小学校)

今年度の島根県小学校長会長に選任されました。会員の皆様方のご支援、ご協力を得ながら各事業を推進し、本会をさらに活性化させることで、本県小学校教育の一層の充実を図ってまいります。

### 一 活動の方針

島根県小学校長会は結成以来、本県小学校教育の充実・発展に寄与するため、会員相互のつながりを基盤として、真摯に研究と実践を重ねるとともに、教育条件の整備に努め、多くの成果を挙げてきました。このような中、将来、豊かな社会の担い手となる子ども

たちには、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けることが求められています。

昨年六月閣議決定された「第四期教育振興基本計画」では、「令和の日本型学校教育」で示された学びの充実や、各学校における学習指導要領の趣旨の理解・着実な実施等が求められています。改めて私たち校長は、予測困難な時代を生き抜く子どもたちを育てるといふ責務と校長としての使命を自

覚し、経営力を高めリーダーシップを発揮しながら創意ある展望と計画のもと、確かな実行力をもって信頼される学校づくりに努めなければなりません。

折しも、「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく心豊かな人づくり」を基本理念とし策定された「しまね教育魅力化ビジョン」の最終年度にあたる今年度はその集大成として、校長間の連帯の絆を強固なものにしながら、ふるさと島根の子どもを一体となって育成していこうではありませんか。

しまねの子ども、職員のために歩み続ける校長会をめざし、微力ながら力を注いでまいります。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

### 二 おもな事業内容

- (1) 総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成して事業を展開する。
- (2) 鹿足郡小学校長会と連携し「第六十六回島根県小学校長会教育研究大会鹿足大会」を開催する。なお、今後の大会の在り方については年度中盤を目的に結論を導く。
- (3) 小・中学校長会が連携して教育条件改善対策委員会を組織し、教育条件の改善・充実に努める。
- (4) 本会の諸活動を記録し、会員の研修と連携を目的とした「校長会報」を発行するほか、ホームページを通して諸活動の広報にあたる。

## 島根県小学校長会の

### さらなる発展を願って

前島根県小学校長会長

玉 木 康 之

昨年五月、新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、ようやく元の学校生活が戻ってきました。それに伴い、本会の活動も、会員の皆様のご協力のおかげで、各種事業を予定通り終えることができ、大変感謝しています。

その中であって、最も印象的だった事業として、十月に開催した島根県小学校長会教育研究大会江津大会において大きな成果を収めたことが挙げられます。江津市校長会の皆様の綿密な計画・準備・運営のおかげで、実に四年ぶりに全会員が参集して開催することが叶いましたこと、改めてお礼申し上げます。本会では同じ島根県の校長として、互いの繋がりを深めることを目的の一つとして掲げています。江津の地では、直に顔を突き合わせて情報交換すること、更に私たちの絆が深まったように感じました。そして、この絆の深まりを、新会長を中心とした今年度の活動につなげ、しまねの子どもたちの笑顔のために、本会が益々発展することを願って止まないところであります。

結びに、校長先生方のご活躍を心から祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 「仲間」としての校長会

副会長 野津 明久

(松江市立乃木小学校)



去る四月二十六日、今年度最初の鳥根県小学校校長会理事・評議員会が開催されました。県内各地の校長先生方と同じ空間で言葉を交わし合いながら時間を共にできたことをとてもうれしく思いました。

この会の席上、安達新会長から今年度の活動方針が示されました。その中には、活動の基盤として「会員相互のコミュニケーションを大切にして活動内容を創意工夫する」という言葉が記されています。私の所属する松江市でも、校長会運営における重点の一つとして、「同じ仲間として近況報告をしたり、学校経営について情報を共有したりして、何でも話し合える雰囲気と場づくりに努め、校長会としての協力体制をつくる」と糸賀会長から提示がありました。

私は、市内外の校長先生方と関わらせてもらう日々の中で、学校の現状を相談したり、課題や悩みに対して助言していただいたり、皆様からの励ましやお力添えによって支えてもらうことばかりです。校長会という組織で情

報を共有し、学校経営を行ううえで「知恵」や「元氣」を授けてもらえることを心からありがたく思っています。

「鳥根県小学校校長会」の発足は、一九五〇年と聞いています。改めて歴史と伝統の重みを感じます。いつの時代であつても、校長会はその時々の課題を解決するための並々ならぬ努力を先人から引き継ぎ、後進へ伝えられてきた軌跡があります。

校長会という組織の中で、私たち小学校長が同じ仲間として、健康で明るく充実した毎日を笑顔で過ごしながら、教職員の働く環境を整え、未来社会を創る子どもたちの幸せを願い、次の世代にタスキをつないでいけたらと思っています

この一年間、微力ではありますが、お二人の副会長と共に会長を支え、力を尽くしてまいりたいと思えます。どうぞ、よろしく願っています。

## 「縁」

副会長 梶谷 悟

(出雲市立今市小学校)



『「縁の聖地」  
鳥根県のしまね観  
光ナビのホームページをのぞくと、そん

なキャッチコピーが出てきます。そして、  
神聖な空気感、雄大な自然、美味しい食。

そして、人との出会い。  
出雲路には五感を全部使って楽しめる豊かさがたくさんあります。

そんな豊かさに触れると、不思議と心に余裕ができて、いつも通りの毎日でも巡り合いで今があると感じたり、  
自分のことも周りの人も、大切だと気づけたり、  
明日からの毎日にワクワクしたり。

それが、『「縁」』と綴られています。  
今年度、鳥根県小学校校長会の副会長を務めさせていただくことになりました。

こういふ役目を務めるのも何かの「「縁」と思い、校長会の中での出会いを大切にしながら、安達会長が示された活動方針をもとに精一杯努めていきたいと思えます。

さて、今年四月、中教審の特別部会から教員確保に向けた処遇改善と働き方改革の素案が提示されました。公立学校教員に残業代わりに上乗せ支給する月額給与四〇%の教職調整額を約五十年ぶりに十%以上引き上げることが柱となっており、小学校の教科担任制の拡大や学級担任への手当加算も求めています。教員不足に直面している学校、長時間勤務が恒常化している学校

もある中で、働き方改革をどう進めていくのか、教員としての魅力をどう伝えていくのか、一人の校長として、また、校長会として、果たすべき責務は大きいものがありますが、この「「縁」」をもとに、皆で知恵を出し合いながら、前に進んでいけるよう、校長会の運営に関わっていきたいと思います。一年間、どうぞよろしく願います。

## 「つながり」を大切に

副会長 林 明範

(隠岐の島町立都万小学校)



今年度、鳥根県小学校校長会の副会長を務めさせていただくことになりました。

昨年度、隠岐小学校校長会を務めることとなり、隠岐管内の理事として本会に参加させていただきましたが、十分な活動もできず皆様にご迷惑をおかけした一年となりました。機会をいただければ、今年度こそは理事として、少しは皆様のお役に立つことができのではと考えていましたが、役員改選の約束で、今年度は隠岐から副会長を選出する順番であるということで、このような大役を引き受けることとなりました。理事としても何もできなかった

私が、副会長として何ができるのだろうと考えると、不安な気持ちでいっぱいです。隠岐という地域性で、ご迷惑をおかけすることもあるのではないかと心配もしています。しかし、自分が成長できる貴重なチャンスだと前向きに捉え、自分なりに努力を重ねて参りたいと決意しました。

私がこれまで校長会という組織で学んだことは、「つながり」の大切さです。どれだけの校長先生方と子どもたちを中心において、学校経営について語り合ってきたでしょう。今の校長としての自分を築き上げてこられたのは、周りにいてくださった校長先生方のおかげだと言っても過言ではありません。このように固い絆を持ち、お互いが切磋琢磨できる組織が「校長会」だと信じています。

今年度の活動方針のスローガン「未来社会を創るしまねの子どもたちの姿を見据え 連携・協働して」にもありますが、安達会長をはじめ、新役員、事務局、各市郡の理事の皆様との「つながり」を大切にして、知恵を出し合っ、しまねの子どもたちの育成を目指していきたいと考えています。大変微力ではございますが、皆様のお力添えもいただきながら、精一杯役割を果たしていく所存です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

## 令和六年度 島根県小学校校長会

### 事業計画

#### \*島根県小学校校長会

(1)活動の具現化、事業の推進を図るための会議の開催、関係団体の会議へ出席する。

①理事・評議員会(一回)、理事会(四回)、常任理事会(一回)を開催する。

※七月常任理事会、十二月理事会はオンラインでの開催とする。

②理事会は、総務、調査研究、対策、広報の四部会を構成し事業を推進する。

③第三回理事会開催に併せ、県教育委員会との意見交換会を実施する。

④県の関係団体、関係機関が主管する各種会合に役員等として参加し、小学校教育の立場から意見を反映させる。

(2)学校経営に関する諸課題の解決に資するとともに、本県小学校教育の振

興と校長としての職能向上を図るために「第六十六回島根県小学校校長会教育研究大会鹿足大会」を開催する。

(3)本県教育の充実を図るため、県中学校長会と「教育条件改善対策委員会」を組織し、関係機関と連携を密にしながら教育諸条件の改善・充実に努める。

(4)本会の諸活動を記録するとともに会員相互の連携を図るため「校長会報」を発行する。併せて、ホームページを通して諸活動の広報にあたる。

(5)教育計画や教育活動を記録する「教育記録」の編集を行うとともに、不断の見直しを図る。

(6)今後の学校統廃合を踏まえ、校長の学びを止めることなく持続可能な教育研究大会の在り方を探るべく重ねてきた検討結果を踏まえ、今年度中に結論を導く。

\*全国連合小学校校長会、中国地区小学校長会との連携

(1)全国連合小学校校長会と連携して教育

課題を究明し、課題解決にあたる。

①総会や理事会および各種委員会や担当者会に参加し、全連小との連携を推進する。

②「小学校時報」、「教育研究シリーズ」等の購読を通して自己研鑽を深める。また、全連小の考え方や新しい教育情報、教育改革の動向、全国の校長会の活動を迅速に伝える「全連小速報」を活用し、学校経営に生かす。

③全連小と連携し、陳情・要望活動・実態調査活動を行う。

(2)中国地区小学校長会と連携し教育課題を究明するとともに、その課題解決にあたる。

①理事会・研修会・連絡協議会(一回)、理事会・研修会(二回)に参加し、連絡調整を図る。

②「第七十一回中国地区小学校長会教育研究大会山口大会」に参加し、中国地区小学校長会との連携や学びを深める。

# 新任校長紹介とコメント

子ども、保護者、教職員が  
楽しさと幸せを感じられる学校  
「楽幸」をめざしていきます。



吉田 卓矢  
(持田小学校)

「子どもも大人も元気な学校」  
を目指し、教職員  
一致団結でがんばります。



杉谷 洋美  
(本庄小学校)

「自ら学び、考え、  
人とかわりながら、  
たくましく生きる損屋っ子」を  
地域、家庭と共に育てていきます。



池田 哲也  
(損屋小学校)

子どもたちと教職員にとって、  
よりよい学校をみんなで  
創っていききたいと思います。



田村 雅史  
(生馬小学校)

自分の夢に向かい仲間とともに  
かがやくしまねっ子を  
教職員とともに育てます。



金山 剛志  
(島根小学校)

校訓「かしこく やさしく たくましく」  
になるよう、のきっ子を  
教職員、保護者、地域の皆さんと  
一緒にがんばります。



井上 浩子  
(能義小学校)

子どもも教職員も、  
「今日も、え～ひだ(いい日だ)」  
と思える学校づくりに励みます。



京谷 雄輔  
(比田小学校)

子どもたちの  
笑顔があふれる学校を、  
地域と一体となって  
創っていきます。

月山富田城の麓で、  
山中鹿之助の如く  
粘り強い子どもたちと  
元気に毎日を過ごしています。



常松 倫子  
(広瀬小学校)



梅木 聖二  
(布部小学校)

学級集団、教職員集団の  
心理的安全性が  
高まるよう、  
環境づくりに努めます。



福島 章洋  
(南小学校)

子どもも教職員も  
いっしょになって  
成長していけるような  
学校をめざしてがんばります。



井上 伸治  
(須佐小学校)

子どもも教職員も  
保護者も地域の方も、  
一人ひとりが大切な存在。  
これを実感できるのが  
田井小学校のステキなところ。



横田 輝昭  
(田井小学校)

子どもも、教職員も、保護者も、  
地域の方も…学校にかかわる  
すべての人が生き生きと  
活躍する来島小学校に  
していきたいと思います。



井上 裕史  
(来島小学校)

①んらいし合う  
仲間といっしょに  
①あわせいっぱい  
学校をつくっていきます。



加藤日出夫  
(志々々小学校)



あかるく  
かしこく  
なかよく  
を合い言葉にみんなの  
笑顔あふれる  
学校づくりをめざします。

みなさんと一緒に  
「㊦さしさと ㊦くらのにおい  
㊦おるまち」弥栄を、  
元気にできればと思います。



真島 陽一  
(弥栄小学校)

久屋小のよい伝統  
を受け継ぎながら、  
さらに素敵な学校づくりを  
めざします。



山本 孝志  
(久屋小学校)



松本 博志  
(赤名小学校)

波の音とやわらかな  
潮の香につつまれる  
鳥井の地で元気で  
笑顔あふれる子どもたちと  
ともにがんばっていきます。

多くの体験と人との  
かかわりを大切にした学校を  
つくっていききたいと思います。



川津 康正  
(天田小学校)

大江高山を背に  
自然に囲まれた中で、  
子ども達の中に  
「き」が育つよう  
応援していきます。



東 忠孝  
(高山小学校)



筆谷 俊之  
(鳥井小学校)

豊かな自然、歴史ある街並み、  
温かい地域の皆さんに  
支えてもらっています。



河村 恭子  
(矢上小学校)

子ども・職員、一人一人の  
「らしさ」が発揮されるよう  
頑張ります。



佐々本 茂  
(呂智小学校)

「かかわりあい  
えがおがあふれる学校」  
をめざしてみんなと共に  
歩んでいきます。



山根 崇志  
(中西小学校)

子どもも大人も関わり合い、  
笑顔のあふれる学校を  
築いていきます。



坂野 智之  
(都茂小学校)

校長を鬼ごっこに誘ってくれる  
素敵な子どもたちのために、  
安心・安全な学校作りに努めます。



並河 智之  
(蔵木小学校)

教職員・保護者・地域の皆さんに  
支えをいただいています。  
「自分らしさ」を忘れずに、  
日々精進していきます。



道川 一史  
(福井小学校)

## 学校紹介

地域のつながりを大切にして、  
「今日も、え〜ひだ」と思える学校に

京谷 雄輔

(安来市立比田小学校)

平成十六年四月、東比田小学校と西比田小学校が統合され、現在の比田小学校が開設されました。島根県東部の水源「飯梨川」の上流約四十kmの山間にあり、四季折々の季節が感じられる自然豊かな場所に位置しています。

比田小学校に  
来ると、毎朝子どもたちが掲揚する「校章」が  
出迎えてくれます。これは、統合前の東比田小学校三年生児童の作品を図案化したもので、二人の子どもが「前へならえ」をしている姿で「比」の字を表しており、比田の子どもが仲良く、そろって健やかに成長することを願っています。



全校二十一人の子ども達は、この校章のもとで、「今日も、え〜ひだ(いい日だ)」と、楽しく充実した学校生活を送っています。  
特徴的な取組としては、年四回行うマラソン大会があります。これは、統

合前の東比田小学校周辺を走る「東比田コース」と、

西比田小学校周辺を走る「西比田コース」を年に二回ずつ走る活動です。体力向上を図るとともに、東西両地区の土地の様子

子がわかり、豊かな自然を感じることもできるため、ふるさと教育の一つとしても有意義な活動となっています。また、マラソン大会の際には、家族だけでなく地域の方も多数応援に来ていただき、児童の頑張りを見てもらうよい機会となっています。

比田小学校は、今年度、島根県教育研究大会安来大会の授業校となっており、道徳の研究に取り組んでいます。言語活動と発問を工夫することによって、考えをより深めようとする児童を育成しようと全教職員で取組を進めているところです。



多様な考えに触れることができるよう、広瀬町内の小規模校三校(比田小、布部小、山佐小)をリモートでつなぎ、三校合同での学習の様子を見ていただく予定です。ぜひ、錦秋の広瀬路へお出でください。



## 校長としての日々

有 福 保

(益田市立吉田小学校)

校長になってずいぶん経った。教諭のときも教頭のときも楽しかったが、校長職もまた楽しい。やりがいのあるポジションだと実感している。

本校に赴任して一年が経ったが、昨年度の実践で印象に残っていることをいくつか書き上げてみたい。

本校の学校教育目標は、「かかわり」の中で自らを「鍛える」児童の育成」である。それはそのまま職員員の「目標」となっている。

「人材育成」と言っているのか自信はないが、職員に「刺激」を与えることは常に心がけている。職員会や終業式をはじめ、日常的な関わりによる「教育観」の伝達には一貫性をもたせている。学校通信やブログは、学校経営方針に沿った内容にしている。「人間関係こそが危機管理です」という投げかけを行い、いかに良好な人間関係を築いていくかをいろいろな角度から伝え続けている。

インフルエンザによる学年閉鎖の期間中に、ある職員が「校長先生、研修してください」と言ってきた。それから、十名弱程度の研修を数回行った。また、自分が会長をしている「益田市

教育研究会生徒指導部会」の研修会

にも何人もの職員が参加した。子どもたちとの人間関係がうまくいかないとき、その都度相談にやってくる職員にアドバイスをした。自分の担任時代に発行した学級通信を貸してみたり、インターネットで気になる記事があれば紹介してみたりと、自分としてはアンテナを高く張ってきたつもりではある。取り上げる内容はすべて「人間関係」についてであった。

そして、これらは全て「職員を護る」という視点からの実践である。何人もの職員が変容していくのを目の当たりにし、このポジションに居させていたただくことのありがたさと怖さを実感した。

役職定年が近づくとこの頃になって、「やっておかなくてはいけなかったこと」と、「やってはいけなかったこと」とが次々と思いつかされる。

いつかの県教委主催の研修会で、早稲田大学の河村茂雄先生がこう言われた。

「給与権も人事権もない校長が何を武器に学校経営をするのか。それは明確な方針を示すことと人間的魅力です。」

なかなかそんな校長にはなれないが、残り僅かな校長としての日々で、少しでも「魅力」ある人間になれるよう精進していきたいと思っている。





### 朝礼講話



## 楽しく安全で、だれもが大切にされる頓原小学校に

角 圭 祐

(飯南町立頓原小学校)



みなさん、おはようございます。

今年度が始まって、もうすぐ一ヶ月が経ちます。毎日みなさんの様子を見ていて、とてもうれしいなと思っています。ありがとうございます。それは、たくさんの方が頓原小学校の三つのテーマ「自分も楽しく みんなも楽しく」「自分も安全 みんなも安全」を意識して過ごしている姿が見られることです。

天気の良い日に校庭で学年や男女に関係なく、楽しそうに遊んでいる人がたくさんいます。上の学年の人が下の学年の人を誘って一緒に遊んだり、プランコの順番を譲り合って使ったりしているところを見て、みんなで楽しく遊んでいていいなあと思いました。

また、六年生が一生懸命考えてくれたおかげで、一年生を迎える会では、全校のみんなが仲良くなって楽しく遊

ぶことができました。

登下校の時には、まだ慣れていない一年生のことを気遣う班長さんや上級生の姿をたくさん見ました。ひとりひとりに声をかけて横断の仕方を教えてあげたり、坂道や階段の途中で休ませてあげたりして、感謝しました。おかげで一年生だけでなく全校のみんなが安全に登校できています。

この前、ある学年の授業を見ていたとき、答えをまちがえた人がいました。それを聞いて「ちがいます。」と言った人がいましたが、その人はすぐに「ちがう考えです。」と言い直していました。「たぶんこんなふうに考えたいんだと思います。」と友達の発表を助けてあげる人もいました。

中休みマラソンで転んだ人がいたときは、何人もの人が駆け寄って起こしてあげたり、けがをしていないか見てあげたりしていました。

たった一ヶ月の間ですが、「頓原小学校の子どもたちですてきだな。」と感じることがたくさんありました。だれかひとりの人が友達を「楽しく」「安全」に過ごせるよう「大切」にすると、その友達はその友達にも同じように接してくれると思います。そうやって思い合いの輪を広げて、みんなが楽しく安全でだれもが大切にされる頓原小学校にしていきましょう。

### 身の回りに、未来に、目を向ける

宇野 陽子

(隠岐の島町立北小学校)



四年生以上には、「SDGs」の話をしました。覚えていますか。

そうですね、十七個の目標があります。私達がこれから安心して暮らしていけるよう、持続可能な社会をつくるための目標です。

二月のバレンタインデーの日にした話です。「今日、誰かにチョココレートをプレゼントする人がいますか。チョココレートの原材料はカカオ豆で、アフリカにある国でよく取れます。そのカカオ豆を朝から夜まで拾ってお金ももらい、家族のためにパンを買う子どもがたくさんいます。カカオ豆からおいしいチョココレートになることを知らない子もいます。驚きますね。今、『SDGs』という目標に世界中で取り組んでいます。十七個の目標の中の八番目に『二〇二五年までに貧しい理由で子どもが働くことをなくす』とされています。この目標が実現し、世界中の子ども、みなさんのように学校で学べるようになると思います。」という内容でした。みなさんはこの話をよく聞いてくれて、「家で話してしまし

たよ。」と教えてくださった保護者の方もいます。嬉しかったです。

さて、給食担

当の先生が、目標の十四番目「海の豊かさを守ろう」を目指して、給食の牛乳パックのリサイクルを始めました。みなさんも、毎日、協力しています。北小学校のそばには、夏になると、よく泳ぎに行く中村海水浴場がありますが、この海だけでなく世界中の海が、いつまでも豊かであってほしいという願いがあるからこそできることです。

また、この前、児童総会がありました。全員が考えを発表し、互いの意見を大切に話し合う話し合いが行われました。これは、目標の四番目「質の高い教育をみんなに」に、つながります。このように、私達の身の回りには、「SDGs」につながるものが多くあります。時には、「これって、目標の何番目になるのかな」と思いをめぐらし、「自分は未来をつくる一人なのだ」という気持ちをもつ「きたっこ」であってほしいです。

牛乳(ぎゅうにゅう)パックのリサイクル



## 令和6年度 島根県小学校長会 役員表

役名	校長名	勤務校	役名	校長名	勤務校
会長	安達利幸	宍道	全連小理事	安達利幸	宍道
副会長	野津明久	乃木		野津明久	乃木
	梶谷悟	今市	全連小代議員	梶谷悟	今市
	林明範	都万		林明範	都万
監事	藤井康二	雑賀	中国地区副会長	安達利幸	宍道
	常松浩	寺領	中国地区理事	野津明久	乃木
				佐藤淳	大庭

### 理事

市郡名	会員数 (学校名)	理事名	評議員名	対策委員名
松江	31	福原克己(朝酌)	糸賀昭雄(法吉) 藤井康二(雑賀)	吉田光良(美保関)
安来	17	⑩ 須藤健(社日)	青砥玉枝(島田)	成相和広(十神)
出雲	33	内藤まり子(遥堪)	佐野美保(北浜) 本間博(四絡)	⑩ 廣澤守(莊原)
雲南	15	飯塚和広(大東)	常松浩(寺領)	⑩ 野田孝秀(掛合)
仁多	9	長谷川勝一(布勢)	小銀康之(亀嵩)	⑩ 千原一弘(馬木)
飯石	4	⑩ 角圭祐(頓原)	(理事兼務)	⑩ 加藤日出夫(志々)
浜田	15	⑩ 上部孝雄(原井)	小林信(三階)	⑩ 毛利尚子(雲城)
大田	13	下隅義久(五十猛)	和田正利(長久)	⑩ 川田勝巳(川合)
江津	7	⑩ 舟木志郎(高角)	南口周哉(江津東)	⑩ 田中岳志(川波)
邑智	11	上田忠則(大和)	星野明洋(川本)	佐々本茂(邑智)
益田	14	有福保(吉田)	宮崎晃(鎌手)	⑩ 小田川治(益田)
鹿足	9	⑩ 松本徹(日原)	河野直樹(七日市)	渋谷秀文(津和野)
隠岐	9	⑩ 濱板健一(海士)	中村孝志(五箇)	⑩ (増本邦雄)(西郷中)

(会員数 187)      ⑩印 常任委員会 理事      ⑩印 教育条件改善対策委員会 理事      ⑩印 小・中代表

### 事務局幹事

校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX	校長名	勤務校	会務分掌	所在地	☎・FAX
田中 晶子	中央	広報	690-0002 松江市大正町398	0852-27-2700 FAX 0852-21-3733	濱岡 宏行	恵曇	対策	690-0323 松江市鹿島町手結201	0852-82-0065 FAX 0852-82-0931
小林 裕昌	竹矢	調査研究	690-0025 松江市八幡町379-1	0852-37-0535 FAX 0852-37-2814	吉田 卓矢	持田	広報	690-0814 松江市東持田町81	0852-21-3987 FAX 0852-21-9659
小山 美子	佐太	広報	690-0332 松江市鹿島町佐陀本郷1186	0852-82-0185 FAX 0852-82-0769	金山 剛志	島根	対策	690-0401 松江市島根町加賀1325-1	0852-85-2018 FAX 0852-85-2134
川本 徹	川津	調査研究	690-0823 松江市西川津町500	0852-21-2507 FAX 0852-21-3760	佐藤 淳	大庭	総務・ 事務局長	690-0033 松江市大庭町1074	0852-21-4239 FAX 0852-21-4311
杉原 孝尚	来待	調査研究	699-0405 松江市宍道町上来待125	0852-66-0051 FAX 0852-66-0052	建岡 浩子	事務局	総務・ 事務局員	690-0886 松江市母衣町55 島根県教育会館内	0852-27-8530 FAX 0852-67-3360
片寄 泰史	内中原	対策・ 事務局次長	690-0873 松江市内中原町225	0852-22-0300 FAX 0852-21-0833					